

シンポジウム 国史跡甲立古墳

第一線の研究者たちが語る 甲立古墳の実像

どうしてこの地に造られた？

埴輪を並べてなにをした？

4世紀末ってどんな時代？

今後の保存整備は？
研究者から見た
甲立古墳のスゴさとは？

日時 平成 28 年 9 月 17 日 (土)
午後1時30分～午後4時35分 (開場 午後0時30分) 【入場無料】

会場 安芸高田市民文化センター・文化ホール

山梨県立考古博物館原図を転用

- プログラム
- 13:30 開会
 - 13:40～ 基調講演
 - 14:20～ パネリストコメント (前半)
 - 15:10～ パネリストコメント (後半)
 - 15:40～ パネルディスカッション
 - 16:35 閉会

- 基調講演
 脇坂 光彦氏 (元(財)広島県埋蔵文化財調査センター調査研究課長)
 コーディネーター
 古瀬 清秀氏 (広島大学 名誉教授)
 パネリスト
 福永 伸哉氏 (大阪大学大学院文学部文学研究科 教授)
 高橋 克壽氏 (花園大学文学部文化遺産学科 教授)
 禰宜田佳男氏 (文化庁記念物課 主任文化財調査官)
 沖田健太郎氏 (安芸高田市教育委員会)

お問い合わせ先 安芸高田市教育委員会 生涯学習課
☎ 42-0054



甲立古墳出土家形埴輪

思い

神楽甲子園に
関わる人々の



密着取材!



▷ NHK 広島放送局が神楽甲子園
に出演する地元吉田高校の密着
取材をされていました



- 1. 宮崎県特産品「宮崎地鶏」
- 2. 宮崎県物販の様子
- 3. 岩手県特産品「三陸ワカメ」
- 4. 岩手県人会の皆様

**初ご当地自慢物
産展がありました**

神楽甲子園を盛り上げようと岩手・宮崎両県人会がご当地の物販を販売するコーナーを初めて設けました。

宮崎県人会による「宮崎地鶏炭火焼き」250食ほか、岩手県人会による「三陸ワカメ」200個が販売され、2日間で完売しました。

宮崎県人会の濱岡事務局長は、「一生懸命神楽を舞う高校生たちに深く感銘を受けた。この舞台での経験を自分の人生の糧にしてほしい。また、物産展は予想以上に大繁盛だった。来年もぜひ物産展に出展したい。」と語られました。



▷岩手県伊保内高校
顧問 石川千枝先生
主将 林大地さん

この度初めて神楽甲子園に参加させていただきました。実際にドームの舞台上で神楽を演じ、緊張しながらも会場の観客の歓声に励まされ、演じることができました。民泊では多くの方々にもやさしくしてもらい、感謝の気持ちでいっぱいです。



▷民泊受け入れ者
佐々木忠則さん
(美土里町北地区)

神楽甲子園の民泊受け入れは今年で2回目です。民泊に来た生徒達は自分の夢や目標を語ってくれます。これからは積極的に多くの高校生の民泊を受け入れていきたいと思っています。

京セラコミュニケーションシステムのみなさん
ありがとうございました



今年も地域貢献活動の一環として手伝いに来ていただきました

大会を支えた西城紫水高校生

西城紫水高校の生徒さんは運営スタッフとして参加されました。会場準備や場内インタビューなど影で神楽甲子園を支えてくれました。西城紫水高校のみなさんに感謝します。

